

大城・金島校区の 文化財マップ



久留米市教育委員会

大城・金島校区の文化財

大城・金島校区には多くの歴史が残されています。

北野町最初の村は良積遺跡よしづみいせきです。北野町は縄文時代のおわりころからはじまるようです。その後、定格遺跡じょうかくいせきや今寺遺跡いまでらいせき、仁王丸遺跡におまるいせきなどが出現します。弥生時代になると、遺跡が急に増えはじめます。弥生時代に始まった水稲耕作すいとうこうさくがこの地に適していたことが原因と考えられます。仁王丸遺跡から半島系無文土器はんとうけいむもんどきや塚島遺跡つかじまいせきから支石墓しせきぼがみつかっています。これらは朝鮮半島から伝わったものであり、朝鮮半島から移住してきた人たちが北野町の人たちに直接水稲耕作の技術を教えてくれたと考えられます。

弥生時代のおわりになると、町中になった遺跡が一つ集まります。その集まりが良積遺跡よしづみいせきです。20haを越える巨大集落せいでうきょうに成長し、青銅鏡まがたまや勾玉とつげんなどをもつ特権階級かいきゅうを生み出すほどです。ただし、この巨大集落も古墳時代になると消滅してしまいます。この集落に住んでいた多くの人々はどこへ行ってしまったのでしょうか？大きな謎が残ります。

塚島古墳つかじまこふんは、この校区に唯一残っている古墳です。約1500年前のものと考えられますが、巨大な石を使ってつくられた石室せきしつが特徴です。どのくらい権力をもった人が眠っているのでしょうか？

奈良時代～平安時代、金島校区に小さな役所こがのうえいせきが置かれます。古賀ノ上遺跡こがのうえいせきです。ただし、役所というには少しばかり形が変わっているため、特殊な機能をもった役所であった可能性が考えられます。

正確にはわかりませんが、鎌倉時代の終わりごろに赤司城あかしじょうがつくられます。戦国時代になると、各勢力の領土争いに巻き込まれ、何度も城主が変わります。江戸時代になり、ようやく城主が田中家に安定しますが、すぐに一国一城令じゅうしゅうによって取り壊され、その石垣は現在久留米城いっこくいちじょうれいの石垣として残っています。

金島小学校区のシンボル、床島堰とこしませきは、しよとくしよとく、正徳2(1712)年、久留米藩の財政難を乗り切るため、農産物の増産を目的につくられました。九州最大の川、筑後川をたった73日間の突貫工事とつがんこうじで堰き止めました。このことは、当時、この事業が農民たちにとってもどれほど大切だったか？ということを物語っています。現在、3000haの水田こくそうちたいを潤し、日本有数の穀倉地帯を守りつづけてくれています。

おおきなかついいせき 大城中筒井遺跡

弥生時代中頃の墓地がみつかりました。墓地は、かめかんぼ甕棺墓・せつかんぼ石棺墓・さいしどこう祭祀土壇から構成されています。すぐ近くにおおきしょうがっこう大城小学校校庭遺跡がありますが、この遺跡の集落にあたりと考えられます。

また、弥生時代中頃の水田跡もみつっています。こうさくめん耕作面・あぜ畦・くい杭の痕跡等が確認されています。水田の年代を示すものがなかったため、杭の痕跡で年代を調べた結果、約2,000年前の年代が算出され、墓地とほぼ同じ時代の水田であることがわかりました。



よしづみいせき 良積遺跡

良積遺跡の名前は良積石よしづみいしに由来します。

調査の結果、縄文時代のおわり～鎌倉時代の集落跡や墓地であることがわかりました。住居跡160軒、かめかんぼ井戸250基、かめかんぼ甕棺墓40基などがみつかりました。弥生時代には、集落のまわりを深い濠ほりで囲んだ環濠集落であったこともわかっています。また、多くの石器や土器をはじめ、せいとうき青銅器、てつき鉄器、もつき木器、とうじき陶磁器などが出土しました。

しかし、良積遺跡は全体のほんの一部を調査したにすぎず、未だに多くのものが多くの謎とともに現在も眠っています。



こがのうえいせき 古賀ノ上遺跡

古墳時代のおわり～奈良時代の集落跡と奈良時代～平安時代の役所跡がみつかりました。

集落跡からは多くの住居や建物、井戸がみつかっています。奈良時代になると、50m四方の建物群が出現します。公的施設と考えられますが、500mの間に4ヶ所の似たような施設がおかれています。

筑後川の南側は筑後国府や御井郡衙がありますが、川の北側にはなにも公的施設がありません。川を挟んだ御井郡にとって、川の北側になにもないのはとても不便で危険な状態です。そのため、古賀ノ上遺跡のようなミニ役所がおかれたのだと考えられます。



つかしまいせき 塚島遺跡

昔、農業用水工事のときに甕棺かめかんがたくさん出た、と伝わっています。弥生時代中頃の集落跡と墓地と考えられます。その一つが支石墓しせきぼです。元々は朝鮮半島タイプのお墓で、北野町に朝鮮半島の人に移り住んだ証拠になります。古代における「国際化」の様子がみてとれます。



塚島遺跡には塚島古墳つかしまこふんがあって、北野町にただ一つ残っている古墳です。古墳の墳丘ふんきゅうは度重なる洪水で破壊され、むき出しの石室が残っているだけです。残っている石室も上半部を大きく壊されています。石室は、全長約8mを測り、複室構造の横穴式石室で、南西向きに入口があります。墳丘の形や規模はまだわかっていません。

いまでらいせき 今寺遺跡

弥生時代はじめの墓地と弥生時代の集落跡です。集落からは住居や土坑どこうがみついています。住居の一つは石器をつくる工房こうぼうとして使われていたようです。

墓地は甕棺墓かめかんぼ9基がみつきり、甕棺墓でも一番古いタイプであることがわかりました。甕棺墓は福岡市あたりからはじまった風習ですが、内陸部である北野町には早くからこの風習が伝わっていたということがわかりました。

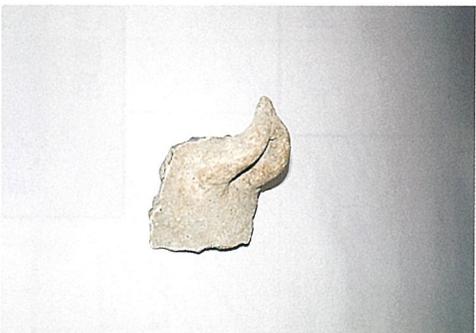


におうまるいせき 仁王丸遺跡

弥生時代中期の集落跡と墓地がみついています。中でも注目されるのが、半島系無文土器の出土です。この土器は、支石墓しせきぼと同じく朝鮮半島タイプつかしまいせきの土器です。塚島遺跡と同じく、「国際化」が進んでいたことがわかります。

また、この遺跡の中には仁王丸古墳もあります。

今もう、古墳の姿をみることはできませんが、昔、確かにそこに塚があったそうです。塚島古墳と同じく、あまり調査が進んでいませんが、古墳の少ない北野町にとって重要な遺跡の一つです。



大城・金島校区の歴史年表

時代	西暦	大城・金島校区のできごと	日本のできごと
縄文	10,000	●各地に集落がつくられはじめる	土器や弓矢を使い始める 日本列島がほぼできあがる
	300		今寺遺跡 稲作が伝わる
弥生	紀元前	●塚島遺跡で支石墓がつくられる 大城中筒井遺跡・日比生遺跡 ●良積遺跡から青銅鏡が出土する	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める
	紀元後		
古墳	300		古墳が造られはじめる
	500	塚島古墳、仁王丸古墳	筑紫君磐井の乱（527） 仏教伝来（538）
奈良	600		大化の改新（645） 白村江の戦いで大敗北（663） 筑紫大地震（679）
	700		筑後国府がつくられる 平城京に都をつくる（710）
平安	800	古賀ノ上遺跡 ●筑後国司暗殺事件が起こる ●北野天満宮がつくられる（1054）	国分寺がつくられる 平安京に都を移す（794）
	1200		鎌倉幕府の成立（1192） 室町幕府の成立（1338）
室町	1400	赤司城跡	応仁の乱（1467）
	1500		豊臣秀吉の天下統一
安土 桃山	1600	●赤司八幡宮で奉納花火がはじまる	江戸幕府の成立（1603）
江戸	1900	●床島堰がつくられる（1712）	明治維新（1868）

大城・金島校区の指定文化財

よしづみいし 良積石

あかし
赤司集落の北側にあります。
がんぎょう ちくごくしみやこあそんみとり
元慶七(882)年、筑後国司都朝臣御酉

あんざつ
が暗殺されるという事件が起こります。
ちやうてい ふしわらよしづみ
この事態に、朝廷は藤原良積を派遣し、
事件解決の任務に就かせました。言い伝
えによると、良積石は藤原良積の墓石と
いうことでこの名で呼ばれるようになった

たようです。しかし一説には、事件の被害者、筑後国司都朝臣御酉の墓ともいわれています。

また石碑には「貞和五(1349)年」「法界衆生」などの銘も刻まれており、南北朝時代の供養塔とも考えられます。

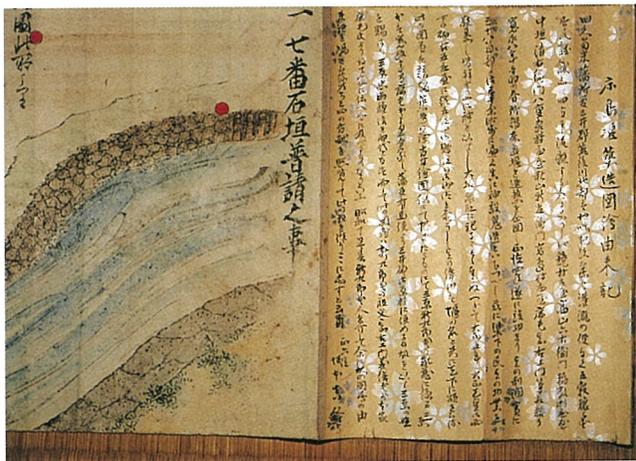


良積石は、未だ多くの謎を秘めています。かなり古い年号をもつ石碑として、平成5年11月17日、北野町(現在は久留米市)文化財として指定されました。

とこじませきちくぞうえす 床島堰築造絵図

かがみ せんしやうじ
鏡集落にある専称寺が所有
しています。

しやうとく
この絵図は正徳2(1712)年
に完成した床島堰の工事の手
順が書かれています。まだ字を
読める人が少なかった時代に
あって、使う道具やその道具の
使い方、工事の具体的進め方な
どが、文字ではなく絵で表す工
夫がされています。



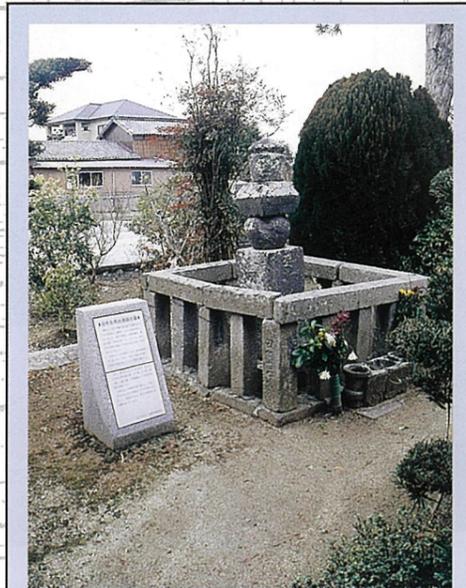
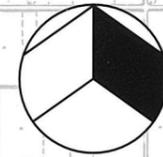
この絵図をみると、当時の工事の方法や大変さがよくわかります。

遺跡一覧表

遺跡名	遺跡の時代	遺跡の概要
おおきしょうがっこう 大城小学校 こうていせいせき 校庭遺跡	弥生	名前のとおり、大城小学校の校庭が遺跡です。弥生時代中頃の集落跡が見つかりました。
ますかげのい 益影ノ井		大城小学校の校庭にあります。応神天皇 <small>おうじん</small> が生まれたときに産湯 <small>うぶゆ</small> を取ったと伝わります。
なかがせいえもんぼろ 中垣清右衛門墓地	江戸	稲敷集落 <small>いなかす</small> の光福寺境内 <small>こうふくじけいだい</small> にあります。床島堰築造 <small>とこしませきかくぞう</small> の功労者 <small>こうらうしや</small> 、五庄屋 <small>ごしょうや</small> の一人です。
あかしじょうあと 赤司城跡	中世～近世	中世につくられた城ですが、江戸時代のはじめに壊されました。石垣は久留米城を修理するときに使われました。
たなかさまのすけぼろ 田中左馬允墓地	江戸	あかし赤司集落 <small>あかしえいおんじけいだい</small> の栄恩寺境内 <small>えいおんじけいだい</small> にあります。赤司城最後の城主 <small>じょうしゆ</small> のお墓です。
あかしはちまんぐう 赤司八幡宮		北野町でも一番古い神社の一つで、9月15日には盛大に花火が奉納されます。
あかしいっくこうみんかんでいせいせき 赤司一区公民館遺跡	弥生～古墳	住居や土坑 <small>よしづみいせいせき</small> が見つかりました。良積遺跡 <small>よしづみいせいせき</small> の周辺にあって、良積遺跡との関係が注目されます。
じょうかくいせいせき 定格遺跡	古墳	古墳時代はじめの集落跡です。住居や建物跡が見つかっています。
もちだいでいせいせき 餅田遺跡	弥生	弥生時代中頃の墓地です。甕棺墓 <small>かめかんぼ</small> 40基が見つかっています。
たかやまろくえもんぼろ 高山六右衛門墓地	江戸	かがみ鏡集落 <small>かがみせんしやうじけいだい</small> の専称寺境内 <small>せんしやうじけいだい</small> にあります。床島堰築造の功労者、五庄屋の一人です。
あきやましんざえもんぼろ 秋山新左衛門墓地	江戸	やえがめ八重亀集落の墓地の中にあります。床島堰築造の功労者、五庄屋の一人です。
ひるおいせいせき 白比生遺跡	弥生	明治30年代、銅矛 <small>どうぼこ</small> が出土したと伝わる場所です。銅矛は福岡県立九州歴史資料館に保管されています。
とくいせいせき 土居Ⅱ遺跡	弥生	昭和58年、用水路の工事中に甕棺墓 <small>かめかんぼ</small> 2基が発見されました。
たいこうわた 太閤渡し		別名 <small>おおきわた</small> 、大城渡し。太閤秀吉 <small>たいこうひでよし</small> （豊臣秀吉 <small>とよとみひでよし</small> ）が九州平定 <small>へいてい</small> の時通ったので、太閤渡しと呼ばれています。

おおき かねしまこうく
大城・金島校区の

文化財マップ



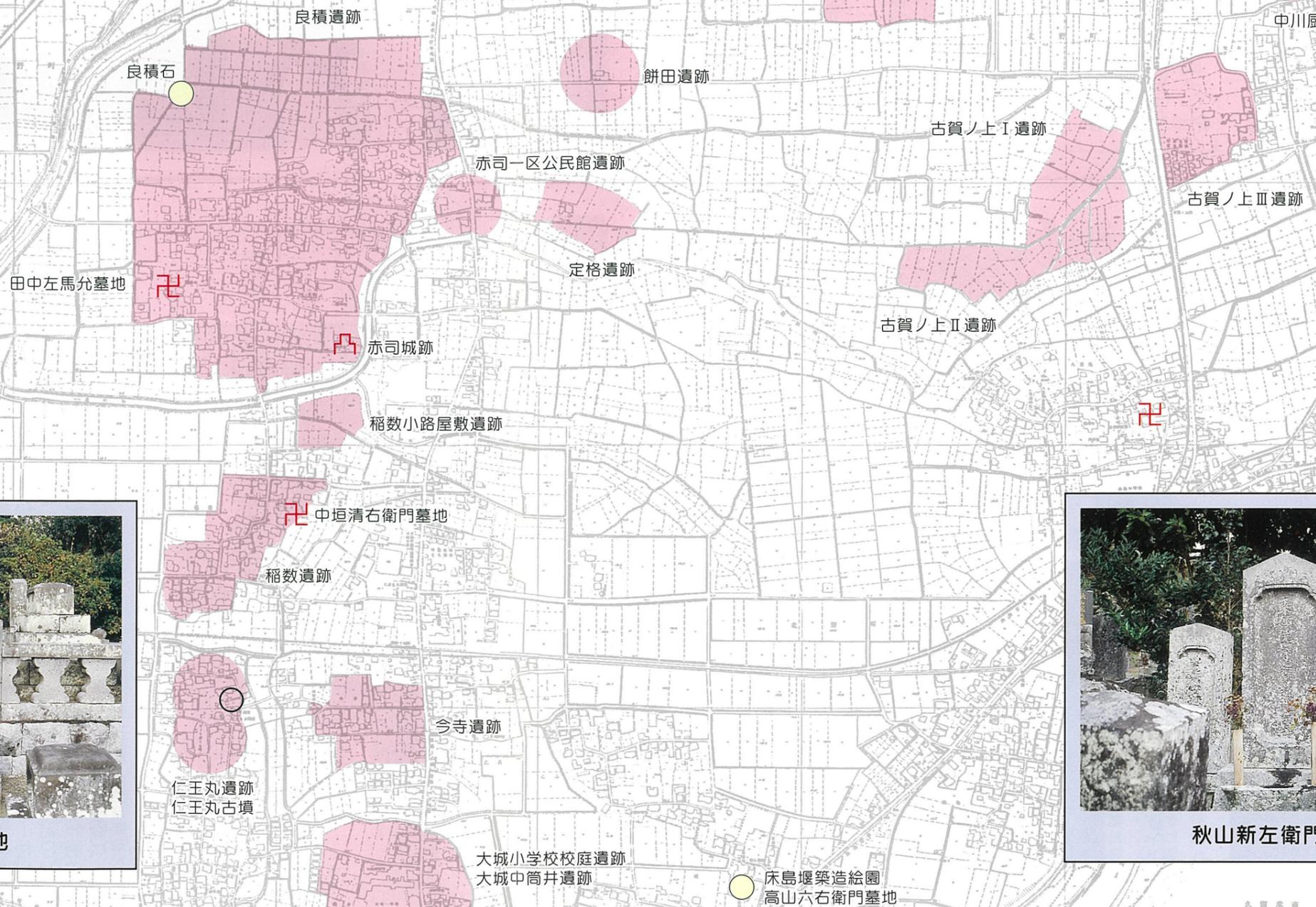
田中左馬允墓地



中垣清右衛門墓地



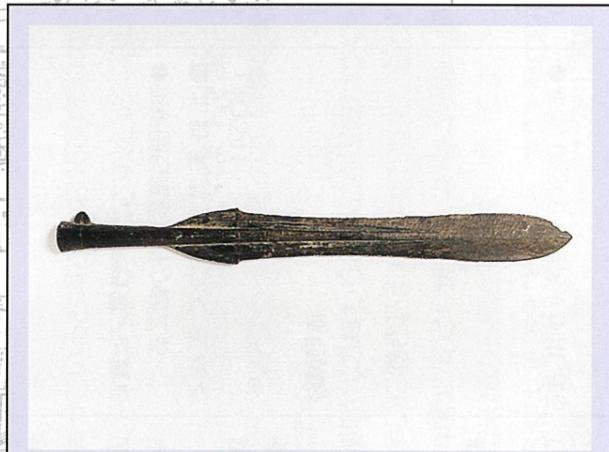
秋山新左衛門墓地





高山六右衛門墓地

- 凡 例
- 主な遺跡
 - 凸 城 跡
 - 卍 神 社
 - 卍 寺院(墓地)
 - 指定文化財



伝日比生遺跡出土銅矛

久留米市埋蔵文化財センターのご案内



体験学習「まが玉づくり」のようす

久留米市埋蔵文化財センターでは、市内の遺跡から出土した遺物(土器・石器・金属器)や図面・写真などの記録を収蔵・整理・研究するために、平成6年4月にオープンしました。センターでは、資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また、「ふるさとの歴史とふれあっ展」、春には「文化財フェスタ」、秋には「考古資料展」などのいろいろな企画展を開催し、あわせて体験学習や現地説明会など盛りだくさんの企画を行なっています。

歴史に興味がある方もない方もお気軽にお越しください。お待ちしております。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：土・日・祝祭日・年末年始

入館料：無料



《文化財に対するお問い合わせ》

久留米市市民文化部 文化財保護課

久留米市城南町15-3 (市役所12階)

TEL0942-30-9225 Fax0942-30-9714

E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町1830-6(えーるピア敷地内)

☎0942-34-4995 FAX0942-34-5045

大城・金島校区の文化財マップ

平成18年3月31日

発行:久留米市教育委員会

編集:文化観光部文化財保護課

〈表紙〉益影ノ井

床島堰築造絵図

(専称寺所蔵)